



月刊宮司プレス 第二百三十号

彦島八幡宮 宮司ニユース
発行者 彦島八幡宮
宮司 柴田 宜夫
発行 令和七年 七月 十六日

◇宮司の柴田です。 炎熱焼くがごとき酷暑の

日々が続いています。 一昨日、お湿り程度で

したが、久しぶりの降雨で、しのぎやすい一日を過ごしました。

◇暑さの言葉も移り変わっています。 猛暑日（最高気温が三十五度以上）が加えられたのは平成十九年のことでした。 それまでは、真夏日（三十度以上）、夏日（二十五度以上）という区分でした。 最近、毎晩「熱帯夜」でしたが、これは、夕刻から朝までの最低気温が、二十五度以上であったということです。 夏の暑さがさらに激しくなり、令和四年から、日本気象協会は、暑さの名称を独自に発表されました。 最高気温四十度以上を「酷暑日」、夜間の最低気温三十度以上は「超熱帯夜」に。 最近よく聞く「暑さ指数」、熱中症予防のためには大切な情報です。 この「暑さ指数」の正式名、御存知ですか。 「温球黒球温度」なのだそうです、黒く塗装した銅版の球に入れた温度計などを計

測につかうのだそうです。

◇中国古代の五行説では、赤を夏に配するところから、夏の異称を「朱夏」といいます。 ちなみに、春は青で、「青春」、秋は白で、「白秋」、

さらに冬は黒で「玄冬」と表現されます。 五行説では、人生の四季を、このように表現しています。 したがって、この世に生を受けている私共は皆、いずれかの季節を生きているということとなります。 この人生の四季を、作家

の五木寛之さんは、青春は二十五歳まで、朱夏は五十歳まで、白秋は七十五歳、玄冬はそれ以降と区切られています。 現代社会では、朱夏、

白秋までが家庭生活を含めて現役として社会活動を果たす時期なのかもしれません。

◇「老い」という文字には三つの意味があるそうです。 一つは年をとる、加齢のことです。 二つは練れる、経験、修養を積み、巧みになる

ことです。 三つは「考」で、思索が深まり完成するという意味だそうです。 老いるとは単に馬齢を加えることではなく、その間に経験を

積み、思索を深め、自己・人生を完成させてゆく努力の過程でなければならぬのです。 人間いくら年をとつても、年をとるほど、学問や芸術に情熱を抱き続けることが不老の秘訣なの

かもしれません。

◇旧土佐藩主で、自由民権運動に身をゆだねた植木枝盛さんは、「その胸中に過去があるもの、それを老人という。 その胸中に未来があるもの、それを青年という。」と仰いました。 アメリカの詩人、サミエル ウルマンさんが書いた「青春」という詩には、「青春とは人生のある一定の期間をいうのではなく心の持ち方をいう。 怯懦をしりぞける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心を意味する。」とあります。 「ああ無情」の著作者のビクトル ユーゴさんは、「未来には三つの意味がある。 臆病者には不可能。 楽天家には未知。 しかしながら、思慮深く

二つは練れる、経験、修養を積み、巧みになる

ことです。 三つは「考」で、思索が深まり完成するという意味だそうです。 老いるとは単に馬齢を加えることではなく、その間に経験を積み、思索を深め、自己・人生を完成させてゆく努力の過程でなければならぬのです。 人間いくら年をとつても、年をとるほど、学問や芸術に情熱を抱き続けることが不老の秘訣なのかもしれません。

◇旧土佐藩主で、自由民権運動に身をゆだねた植木枝盛さんは、「その胸中に過去があるもの、それを老人という。 その胸中に未来があるもの、それを青年という。」と仰いました。 アメリカの詩人、サミエル ウルマンさんが書いた「青春」という詩には、「青春とは人生のある一定の期間をいうのではなく心の持ち方をいう。 怯懦をしりぞける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心を意味する。」とあります。 「ああ無情」の著作者のビクトル ユーゴさんは、「未来には三つの意味がある。 臆病者には不可能。 楽天家には未知。 しかしながら、思慮深く

勇敢な者には、未来は理想という意味を持つ。」
と仰いました。

◇「若い」の「年をとる」、「これは、「ウエル エ
イジング」、「肯加齢」、自分の年齢に素直に向
き合うことが大事です。そして、「練れる」、
これは、「アンチ エイジング」、「抗加齢」、気
持ちは若くエネルギーに挑戦することが
肝要です。さらに、「考」、これは、「ナイス
エイジング」、「優（勝）加齢」、情熱を抱き続
けることが大切となってきました。

◇私は、今月二十七日で、満六十三歳を迎えま
すので、まさしく、前述の、朱夏から白秋の中
間点を越えたところに差しかかりました。
これからも、今ある命に感謝の心を忘れず、謙
虚に自分を見つめ直し、希望を見失わずつとめ
てまいりたいと思いを新たにしています。
皆様方も、胸中には明るい未来を、そして、怯
懦を退ける勇氣と安易を振り捨てる冒険心を
持ち続け、思慮深く勇敢に挑み、未来が理想と
なりますように、心からお祈り申し上げます。
御自愛くださいませ。

◇六月の祭典行事報告

▼恵美須神社例祭 *六月十日

▼貴布禰稻荷神社例祭 *六月十一日



▼茅の輪奉製作業 *六月二十七日



▼大祓式、花手水実施 *六月二十日



◇七月の祭典行事報告（予定も含む）

▼月次祭 *七月一日、七月十五日

▼貴布禰神社月次祭 *七月一日

▼六連島七社祭 *七月九日

▼竹の子島天満宮例祭 *七月十五日

▼田の首八幡宮夏越祭 *七月二十日

▼朝粥会 *七月二十一日

▼六連島八幡宮夏越祭

*七月二十五日

▼夏越祭

*七月二十九日～三十日

▼恵美須神社夏越祭 *七月三十一日

◇七月の宮司動静（予定も含む）

▼神社関係団体

◆早起会参拝 *七月一日

◆維蘇志会八月例会 *七月十九日

◆敬神婦人会役員会

*七月二十四日

◆奉賛会行事委員会茅の輪奉製作業

*七月二十七日

▼神社庁関係

◆神社庁役員会、総代会役員会 *七月二日

◆神社庁支部長事務局長会議 *七月三日

◆山口県八幡宮会総会 *七月九日

◆神社庁正副庁長会議 *七月十六日

◆神社庁顧問参与会 *七月十六日

▼講演活動

◆向井小四年生授業にて講演 *七月四日

▼教誨活動（美祢社会復帰促進センター）

◆集合教誨女子 *七月二十二日

◆集合教誨男子 *七月二十八日

▼自治会、学校関係、人権相談員、その他

◆中部少年学院後援会理事総会

*七月八日

◆迫町自治会役員会 *七月十八日